

2022年度岡山史料ネットの活動について

岡山史料ネット

✉ okayamasiryonet@gmail.com

🌐 <http://okayamasiryonet.s1008.xrea.com/>



website QR code

資料修復活動について

ひきつづき、2018年の西日本豪雨の際にレスキューした資料の修復活動を実施しています。今年度もcovid-19の感染拡大が収まらないなかで、事務局のある岡山大学の指針をにらみながら、6月・11月にボランティアをつのるかたちで固着資料の剥離、洗浄、乾燥といった一連の修復作業を実施しました。

また、自治体史等を典拠とした県内の史料所在情報データベースの構築も継続しています。



参考：修復活動のようす（2022年1月）

活動報告会「学生と考える西日本豪雨と地域社会」の開催



活動報告会のようす（2022年8月）

8月6日に今年度の活動報告会をきらめきプラザで開催しました（ハイブリッド形式）。今回は昨年度に「西日本豪雨災害と社会」をテーマとした社会調査実習の授業で被災地に関わった福田雄さん（ノートルダム清心女子大学・社会学）から、取り組みや授業を通じて考えたこととお話しいただきました。また、履修生の藤本瑠奈さん、調査協力者で地域の記憶誌を発行された総社市下原地区の川田一馬さんからもお話しいただき、岡山史料ネットからのコメントを踏まえて議論しました。全国から約30名の参加がありました。詳細はウェブサイト掲載のニュースレター第8号をご覧ください。

岡山県文化財等救済ネットワーク研修会への参加

11月16日に岡山県古代吉備文化財センターでの研修会に参加しました。

今回は現在県文化財課が策定に向けて準備を進めている「岡山県文化財等災害対応マニュアル」の議論を深めるためのワークショップとして企画されました。具体的には、(1)災害対策本部設置後、(2)職場待機～災害対応中心の時期、(3)災害対応を中心としつつ文化財業務も可能になった段階、という時間軸に沿った3つの場面を想定し、各自治体・施設・団体等でどのような対応が可能か、また課題となるかを班ごとに議論し、フロア全体で共有しました。岡山県内を中心とした32名が参加しました。



研修会のようす（2022年11月）

会員を募集しています

活動を支えてくださる会員（年会費1,000円議決権ありの会員と、年会費無料のサポート会員）を募集しています。どなたでもご参加いただけます。事務局までご連絡ください。（文責・松岡）